

事務事業 No./名称	■サービス部門 景観-05 緑地取得事業				タイムスコード及び個別事業名		
	□支援部門				1152	緑地取得事業	
主管課	みどり課		関連課				
分野名	みどり						
目標 (目標値)	鎌倉市緑の基本計画に基づく緑地の保全						
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考			
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯				
運営資源 状況	決算値	65,920千円	180,298千円		指標と評価		
	(国・県)	21,900千円	59,800千円		指標	緑地取得面積	
	(負担金等)				評価	◎	
	(一般財源)	44,020千円	120,498千円		◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		
	人員配置数	1.0人	1.0人		目標値	実績値	
	人件費	9,224千円	9,292千円		20年度	0.5ha	0.5ha
	協働の パートナー				21年度	1.0ha	1.0ha
事務事業 運営経費	総事業費	75,144千円	189,590千円		22年度		
	市民1人当 りの経費	425円	1,074円		23年度		
	対象者1人 当りの経費				最終年度 (年度)		
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名						
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・身近な緑を保全する市民ニーズが高まる中、緑地取得には多くの財源が必要となることから、緑地 保全基金を充実していく必要がある。 ・緑の基本計画の見直しも含め、法制度改正に伴う施策展開等、更なる取り組みが必要である。 ・緑地所有者の高齢化が進み、相続問題等で開発業者へ譲渡する動きが出ている。					
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・特別緑地保全地区の候補地としている緑地の保全を図るため、所有者の理解を得て土地を取得 し、緑地を確保することができた。また、財政負担の軽減を図るため、国庫補助を活用した。					
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・地域、地区レベルで重要な緑地保全要請への対応。 ・市民との連携による緑地保全制度の検討。					
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・平成22年度は、緑の基本計画の定期的な見直しの時期であり、計画の進捗状況や社会動向等を踏 まえ、緑政上の課題として、見直しの中でその解決方を検討していく。					
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了							
評価結果	改善の必要性	緑地の買入要望や開発計画は突然発 生し、処理方法決定までに時間がなが いことや、買入には多くの財政支出を伴うこと から、買入ルールの確立及び緊急対応が 可能な予算措置が必要である。		評価結果	改善の必要性	鎌倉の緑地保全は、鎌倉市民のもの だけでなく、鎌倉を訪れる全ての人の共 有財産であり、緑地を保全することによ り地球温暖化の防止にも役立っているこ とから、今後も大切な緑を保全していく。	
B	無			B	無		
課長名	みどり課長 川名 達哉			部名・部長名	景観部長 土屋 志郎		